

コミュニティーで防災を

町文化会館で防災講演会



熊本、益城町の活断層について詳しく説明する清水氏

9月10日、平成23年度益城町公民館講座「防災講演会」が、九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測センター長で教授の清水洋氏を迎え、町文化会館で行われました。

清水氏は、基本的な地震のしくみや今年甚大な被害を及ぼした東北地方太平洋沖地震による地殻変動、そして、九州・熊本の活断層や今後の地震活動などについて、わかりやすく説明。「地震の予知は非常に難しいが、冷静に行動することと、耐震対策が必要。また、日ごろからコミュニティーを大切にし、いざという時に助け合うことが一番重要」と話し、集まった約300人の参加者は、真剣な表情で聞いていました。

中国にわたって 絵本作作

とくながゆづき
徳永柚紀さん
(津森小6年、下小谷)



8月中旬に中韓子ども童話交流事業で中国にわたり、創作絵本を作製した徳永柚紀さんが、9月12日、活動報告に住永町長を訪問しました。

毎日新聞社主催の読書感想文コンクールに応募し、県内で特選、全国で入選に選ばれ、今回の日本人メンバー33人の1人に選出された徳永さん。同年代の中国・韓国の子どもたちと一緒に7日間を過ごし、協力して絵本を作り上げました。「ジェスチャーを交えながら交流し、中国文化と国民性の違いを知ることができた」と思い出をかみしめるように語っていました。



交流事業で仲良くなった友だちと万里の長城で(徳永さんは一番右)



100歳の喜びをかみしめる西島さん(前列中央)

8月から9月にかけて、めでたく100歳を迎えた西島保章さん(明治44年8月29日生、杉堂と澤田ユキエさん(明治44年9月15日生、宮園)の2人に対し、町から敬老祝い金が送られました。

昔から読書が大好きで、教育熱心だったという西島さんは、益城町教育長と選挙管理委員長を歴任。義弟には、



町長との談笑を楽しんだ澤田さん(前列中央)

「どことも痛くないくよくよせんのが長生きの秘訣」と、とてもお元気な100歳でした。

お元気な100歳2人を表彰

杉堂の西島さんと宮園の澤田さん

髯漆で人間国宝、また、名誉町民でもある増村益城さんがいます。誕生日には、たくさんのお祝いのおかげ、にぎやかなひとときをとてうれしそうに楽しんでいました。